

市報

やまぐち

2002 5/1 NO.1315

MAY

Communication Paper Yamaguchi

CONTENTS 主な内容

平成13年度下半期財政公表

佐内市政 3 期12年のあゆみ

こどもにやさしい

活力と潤いのあるまちづくり

山口市緑の基本計画策定



一般会計の収支状況（3月末現在）【表1】

入			出		
項目	予算現額(万円)	収入済率(%)	項目	予算現額(万円)	執行済率(%)
市 税	1,883,991	93.7	議 会 費	35,336	97.9
地方譲与税	40,500	101.9	総 務 費	1,034,462	81.7
利子割交付金	91,300	113.0	民 生 費	935,589	71.9
地方消費税交付金	125,400	100.4	衛 生 費	509,296	94.3
ゴルフ場利用税交付金	3,000	86.9	労 働 費	10,182	92.1
自動車取得税交付金	28,000	97.7	農林水産業費	197,402	79.0
地方特例交付金	65,846	100.0	商 工 費	172,304	83.1
地方交付税	733,876	101.5	土 木 費	857,590	71.7
分担金および負担金	57,811	92.7	消 防 費	138,615	96.7
使用料および手数料	56,837	97.2	教 育 費	612,142	79.6
国庫支出金	360,719	51.1	災害復旧費	6,463	94.0
県 支 出 金	211,297	47.5	公 債 費	530,129	98.5
財産収入	36,875	69.8	予 備 費	7,000	0.0
寄 附 金	361	363.2			
繰 入 金	90,122	0.0			
市 債	1,030,010	15.7			
そ の 他	230,565	90.6			
合 計	5,046,510	72.7	合 計	5,046,510	81.4

※予算現額には、平成12年度からの繰越額20億4,606万円を含んでいます。

特別会計の収支状況（3月末現在）【表2】

会 計	予算現額(万円)	収入済額(万円)	執行済額(万円)	執行済率(%)
国民健康保険	887,978	720,457	780,595	87.9
老人保健	1,418,012	1,161,944	1,217,918	85.9
同和対策資金貸付	4,774	3,018	195	4.1
下 水 道	678,645	200,849	624,600	92.0
土 地 取 得	23,096	22,573	23,095	100.0
駐 車 場	6,600	5,309	4,837	73.3
農業集落排水	56,297	19,886	53,707	95.4
漁業集落排水	14,466	2,259	13,818	95.5
介護保険	647,058	475,674	574,168	88.7
特別林野	3,006	1,572	1,424	47.4
合 計	3,739,932	2,613,541	3,294,357	88.1

※予算現額には、平成12年度からの繰越額4億1,900万円を含んでいます。

市債の状況【表3】

区 分	3月末現在高
一般会計	568億6,208万円
特別会計	358億8,833万円
合 計	927億5,041万円

平成13年度 下半期財政公表

山口市の財政運営についてみなさんに理解していただくために、平成13年度下半期（10月1日～3月31日まで）の財政状況を公表いたします。

◆一般会計

一般会計は当初予算464億9000万円です。スタートしましたが、その後、経済対策など19億2904万円の追加補正を行い、3月末現在で総額484億1904万円となりました。

追加した補正予算の主な内容は、中原中也記念館常設展示リニューアル事業に1億3200万円、宮野中学校屋内運動場増改築事業に4億7926万円、山口ふるさと伝承総合センター整備事業に1億1000万円、留守家庭児童学級整備事業に7260万円などです。

3月末現在の一般会計の歳入歳出状況は【表1】のとおりです。

○平成13年度中に完成した施設

市民活動支援施設（さぼらんて）
大内中学校給食室
白石中学校プール
留守家庭児童学級（うえき学級）など

○平成14年度も引き続いて取り組む事業

・やまぐち情報文化都市づくり
（中園文化施設建設事業、中央公園整備事業など）
・中心市街地の活性化（市街地活性化緊急対策事業、市街地再開発事業等に係る調査など）
・教育施設の充実（市立図書館整備など）
・市民交通システムの確立（コミ



山口市民活動支援センター
さぼらんて

◆特別会計

特別会計は、公共下水道事業など、特定の目的をもって事業を行う場合に、一般会計と区別して経理するための会計で、それぞれの収支状況は【表2】のとおりです。

※一般・特別会計とも会計年度は4月1日から翌年の3月31日までですが、平成13年度の出納を閉鎖する平成14年5月31日までは出し入れがあります。ですので、決算額は異なっています。

市債の3月末残高は【表3】のとおりです。

●財政一口メモ

基金って何だろう？

基金は、目的に応じて資金を積み立てたり運用したりする財産です。山口市には開発振興基金や庁舎建設基金をはじめ、市の財源不足に対応するための財政調整基金や、市債の償還財源を確保するための減債基金など、合計で約136億円の基金があります。これらを適切に活用することにより、健全な財政運営が図られています。

ユニティバスの運行

佐内市政

3期12年のあゆみ

佐内市長は、平成2年5月13日に市長に就任以来、第四次山口市総合計画の基本理念である「自然と文化をはぐくみ躍動する中核都市やまぐち」の実現を図るため、快適な生活空間都市、心豊かな学習都市、未来にはばたく交流拠点都市、活力あふれる産業集積都市、ふれあいのある健康福祉都市の実現に向けた施策を展開してきました。また、平成12年には、第五次山口市総合計画の策定を行い、「新しい自分と出会い、自分らしい生き方を実現できるまち」を基本目標に、「自然と都市が共存し、文化に彩られた21世紀の中核都市」の実現を進めています。

佐内市長退任にあたり、主な事業や施策を通して就任から現在までを振り返ってみます。

退任にあたり お礼申し上げます

市長に就任してから12年が経過しようとしています。新しい市長が合志栄一さんに決まり、5月12日の任期満了で、退任することとなりました。

この12年を顧みますと、経済の後退期にもかかわらず、市民のみなさまのご理解とご協力をいただきまして、多くの事業を進めることができ、厚くお礼申し上げます。

市長就任時は、第四次山口市総合計画がスタートしたばかりであり、「自然と文化をはぐくみ躍動する中核都市づくり」を基本理念に市政を進めてまいりました。中でも、学校校舎や幼稚園舎の老朽化を改善するため、学校施設整備10ヵ年計画を積極的に推進してまいり、着実な成果を収めることができました。また、環境問題では、ごみの資源化による廃棄物の減量を推し進めるとともに、ダイオキシンなどの有害物質対策を考慮し平成10年から新清掃工場の運転を開始いたしました。

現在は、長引く不況により先の見えない不透明な時代であります。市民の皆さんがいつまでも元気で幸せに暮らしていけるよう、このまち自体が輝き続ける必要があります。「やまぐち情報文化都市づくり」と「大内文化まちづくり」を進めることで、まちの個性を大切にしたいまちづくりを進めてまいりましたが、今後は、一市民として郷土山口が県都としてますます発展するよう願ってやみません。

終わりにあたり、皆様から寄せられたご厚情に対しまして、心からお礼を申し上げますとともに、市民の皆様のご健康とご多幸を祈念いたしまして、退任に寄せての挨拶いたします。

山口市長 佐内 正治

平成14年第1回山口市議会定例会で、閉会のあいさつをする佐内市長（3月18日）



快適な生活空間都市づくり

道路網の整備

都市計画道路や道路整備計画路線の整備、国・県道の整備要望を関係機関へ積極的にを行い、道路網の整備を進めました。

都市計画道路は、一本松朝倉線、泉町平川線、東山通り下矢原線などを整備。道路整備計画路線は、市内10路線の指定を行い、市道整備を行いました。また、国道は、国道9号などでバイパス整備が行われ、平成12年3月には、国道2号の鑄銭司地区と陶地区内の拡幅および高架橋も完成。さらに、県道では、南部海岸道路（宇部防府線、大海秋穂二島線）、山口阿知須宇部線、山口防府線の整備などが行われました。



国道2号高架橋開通式（平成13年3月）

公園の整備



山口テクノパーク内に整備された河原谷公園

自然や歴史的環境を生かし周囲と一体となった特色ある公園を整備してきました。総合公園は、佐山地区にある河原谷公園など2カ所を整備。地区公園は、鴻ノ峰のふもとに木戸公園を整備。街区公園は、大内地区の水上公園など8カ所を整備しました。また、平成11年度には、「公園リフレッシュ計画」を策定し、平成12年度から開設済み公園を年次的に整備しています。

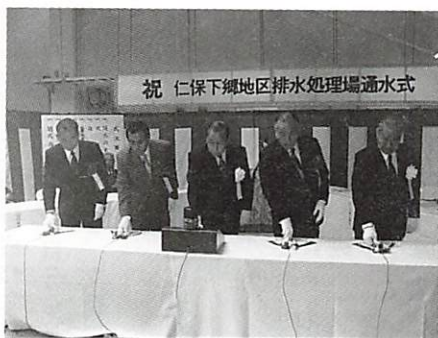
生活環境の整備

下水道対策は市民ニーズも高く、公共下水道の整備を積極的に進めました。平成元年度末に21・9パーセントであった下水道普及率は平成12年度末には、45・2パーセントとなり、汚水処理する区域の面積は、1462ヘクタールに拡大。また、農業集落の家庭

から排出される汚水などの処理は、農業集落排水事業で整備を行い、仁保下郷地区、名田島地区、仁保中郷地区で施設の供用を開始しました。

さらに、秋穂、一島長浜地区では、漁業集落排水事業を実施しています。

公共下水道等の認可区域でない地域には、合併処理浄化槽設置に対する補助を実施しています。



仁保下郷地区農業集落排水事業の終末処理場を供用開始（平成8年4月）

学習都市づくり

学校施設の整備

小・中学校および幼稚園の老朽校舎を解消するため、学校施設整備10カ年計画に基づき年次的に校舎、幼稚園舎を改築してきました。また、平成5年には、大内南小学校を新たに開校。さらに、平成7

年度に中学校給食基本計画、実施計画の策定を行い、平成14年4月から全中学校で、完全給食が実施となりました。

生涯学習の拠点整備

平成3年に小鯖公民館、平成5年に平川公民館を改築。大殿公民館と湯田公民館の新築整備など生涯学習の拠点を整備しました。

また、平成13年に「山口市立図書館のサービス計画」を策定。情報ネットワークの活用や移動図書館、公民館との連携で市内全域への図書館サービスを予定しています。

スポーツ振興



平成7年5月に竣工した山口市スポーツの森・西京スタジアム

施設整備では、山口市スポーツの森・西京スタジアムを宮野地区に整備しました。また、大内長野の市民運動広場に、総合体育館を平成10年4月にオープンさせ、あ

わせてグラウンドの拡張などを行い「やまぐちリフレッシュパーク」を整備しました。

交流拠点都市づくり

情報通信基盤の整備

平成3年11月に第三セクター方式で、山口ケーブルビジョン株式会社を設立。平成5年12月からサービスを開始。市民チャンネルを確保し、生活情報、行政情報など地域に密着したお知らせを提供しています。平成6年6月からは市議会の中継も放送。また、平成13年2月からは、ケーブルインターネットのサービスも開始されました。

中核都市づくり

地方定住の核となる拠点都市地域の形成をはかるため、平成5年2月に、山口市、防府市、小郡町、秋穂町の2市2町で地方拠点法の地域指定をうけ、中園町一帯の約29ヘクタールを「山口拠点地区」と位置づけ整備を開始しました。このうち開発地区Iの約9ヘクタールで、土地区画整理事業を行い、芸術・文化の創造活動を支援し、情報を集積・発信する「山口情報芸術センター」や市民の憩いの場として「中央公園」の整備を進め

できました。



中原中也記念館開館（平成6年2月）

文化・芸術の振興

文化施設は、旧県立山口図書館を「クリエイティブ・スペース赤れんが」として整備を行ったことをはじめ、中原中也記念館の整備などを行ってきました。また、文化事業としては、優れた現代詩に対して贈る「中原中也賞」を創設、市民の活動の成果を発表する場となる「市民文化祭」「市美術展覧会」を開催してきました。

国際交流の推進

スペインパンプローナ市、中国済南市に次いで、平成5年2月に韓国公州市と姉妹都市締結。平成7年に韓国公州市で行われた「百済文化祭」に、山口市から時代行列が特別参加するなど活発な交流が行われています。

産業集積都市づくり

産業団地と企業誘致

地域振興整備公団により整備された佐山地区の山口テクノパークは、平成2年3月から分譲が開始され、17社が企業進出を決定。平成3年6月から操業開始したサンテック株式会社を始め12区画で操業を開始しています。また、隣接する山口テクノ第2団地や山口物流産業団地、鑄銭司団地などを造成。平成2年度から、現在まで新たに誘致した企業は、37社となっています。

伝統産業の伝承と振興



平成3年にオープンした山口ふるさと伝承総合センター

ふるさとの歴史と産業の伝承を図るため、「山口ふるさと伝承総合センター」が平成3年5月にオープン。平成12年から「やまぐち伝

承ものづくり祭り」が開催されています。大内塗新創造デザイン・アイディアを募集するとともに、特産品開発に対する補助金を創設しました。

商店街の活性化

道場門前商店街の駐車場やアーケードの整備に補助を行い、あわせて中心商店街の空き店舗の解消と有効活用を図るため、賑わいを創出する空き店舗対策事業や各種イベント等の支援を実施。また、中心市街地地区での事業所の集積や事業活動の増大を促進するため、中心市街地活性化補助金を創設しました。

健康福祉都市づくり

高齢者福祉の充実

平成4年に、高齢者福祉の一環として、市内で最初の在宅介護支援センターを吉敷の特別養護老人ホーム「よしき悠々苑」に開設したのをはじめ、市内七つの施設に在宅介護支援センターを設置。また、平成12年3月に「山口市老人保健福祉計画・山口市介護保険事業計画」を策定。平成12年4月に、介護保険制度を円滑にスタートさせるとともに、基幹型在宅介護支援センターを高齡障害課内に設置

しました。平成13年度からは、家族介護者慰労金の支給や痴呆予防教室等を開催しています。
高齢者生きがいセンターの整備



市内で最初に整備した高齢者生きがいセンター「げんきやかた」（吉敷）

平成9年度から、16地区に高齢者生きがいセンターの整備を開始。この施設は高齢者の社会参加、生きがいづくりおよび世代間の交流の場を提供するもので、吉敷、名田島、佐山、小鯖、嘉川、大内地区で整備を行いました。

保育園の整備

子育て支援センター施設と一時保育施設を併設したおとり保育園、大内光輪保育園を公設民営方式で整備。また、児童がたくましく育つための環境づくりを総合的に推進するため、平成6年3月に「こどものまちづくり推進計画」を策定。今年3月に改訂しました。

市内には、放課後の小学校低学年児童の健全育成を図るため、留守家庭児童学級が20カ所あります。写真はもみじ学級（吉敷）



社会全体で、まちの将来を担うこどもたちの育成を

こどもにやさしい 活力と潤いのあるまちづくり

こどもの数の減少、家族形態の変化、女性の社会進出、教育費の増大など、こどもをとりまく環境は複雑多岐にわたっています。こうした中、こどもたちが心豊かにたくましく成長できる環境、子育てしやすい環境づくりが求められます。市では、市民のみなさんとともに「こどもにやさしい 活力と潤いのあるまちづくり」を目指します。

結婚や出産は、個人の生き方や価値観に関わる問題であり、また、こどもの養育や教育は家庭内で行うことが基本です。しかし、一方で、社会全体が子育ての重要性を認め、社会全体でこどもを育てていくという意識をもつことが大切になってきます。

こどものまちづくり推進計画を策定

市では、「こどもにやさしい 活力と潤いのあるまちづくり」の実現を目指して、平成18年度を目標年度に「こどものまちづくり推進計画」を策定しました。この計画は、家庭の養育機能の補完を公的支援で行っていくとの視点に立ち、こどもたちが、心豊かに、たくましく育つための環境づくりを、総合的に推進していくための子育て支援策の指針となります。

1 児童健全育成活動の推進

児童館、地域、自然、学校など、こどもたちの生活ステージとなるさまざまな場所について、健全で豊かな人間性を育むための取り組みを進めます。また、児童虐待などについてその防止対策と適切な対処策を強化します。

2 家庭や子育てについての意

識啓発

家庭や子育ての理解を深めるため、こどもと家庭の問題を社会全体で捉え、支援するための意識啓発などに努めます。

3 子育て支援体制の整備充実

子育てについての不安や悩みを持つ親に対して、気軽に相談に応じ、適切な指導や助言が行えるよう、地域子育て支援センターの設置など相談支援体制の整備を図るとともに、子育ての不安や悩みなどを分かちあえる子育ての仲間づくりを支援します。また、子育ての経済的負担の軽減について各種制度の充実に努めます。

4 母子保健対策の充実

健やかにこどもを生み育てるために、妊娠・出産に対する知識の普及や安心して出産できる環境の整備など妊娠婦、乳幼児に対する母子保健対策の充実に努めます。

5 仕事と子育ての両立支援



現在市内に5カ所ある地域子育て支援センター。定期的にイベントが開催され、保育所児以外の親子が参加し交流を楽しんでいます。写真は、おおとり保育園内の地域子育て支援センター

6 生活環境の整備

こどもが体を思い切り動かして遊べる空間や、自然とのふれあいの中で次々に遊びを発展していきけるような環境を確保していきます。また、子育てに配慮した住環境の整備を推進していきます。

ストップ 児童虐待

親子を孤立させないことが大切

近年、児童虐待のニュースを数多く耳にします。こどもの虐待がどのようなおきるのかは大変難しい問題ですが、親自身がこどもの頃に虐待を受けたため、こどもへの接し方がよくわからなかったり、夫婦の不和や仕事のトラブルなどのストレスに苦しんでいる場合に、虐待に至りやすいといわれています。山口市児童虐待防止協議会会長である山口県立大学看護学部の森田秀子助教は「子育ては徐々に学んでいくもの。相談することは恥ずかしいことではありません。相談して心のバランスを保つことが大切」と話します。

虐待から守ることができるのは、周囲の大人たち

虐待を受けたこどもたちは、その被害を認識できなかったり、家族以外の人に訴えたりすることができずにいる場合が多くあります。そのようなこどもたちを虐待から守ることができるのは、周囲の大人たちです。私たちは社会全体でまちの将来を担うこどもたちを守る責任があります。「子育てができていない人を遠巻きに見る傾向があります。社会が、親子を

孤立させないことが大切。少しぐらいのおせっかいも必要です」と森田先生は話します。

「虐待かどうか、はっきりしない」と連絡できない」と思われるかもしれないませんが、連絡がないと虐待の有無も調査できません。間違いを恐れず、児童相談所などへ連絡してください。子育てに悩んだり、虐待されている子どもたちを発見した場合は、次の機関に気軽に相談ください。

◇山口県中央児童相談所（☎922-7511）、おやこほつとライン（☎932-3939）、市児童家庭課（☎934-2797）

サークル活動へ参加

一人で悩まず、一歩外に出てみませんか

市内各地に、育児や子育ての情報交換や野外活動などを展開しているサークルが数多くあります。

育児サークル「てくてく」の代表者であり、また、市内の育児サークルの連携を図ることを目的に設立された「やまぐち育児サークルネットワークぶちネット」の代表も務める杉山美羽さんにお話をうかがいました。現在、4人のお子さんをもつ杉山さんにとって



杉山美羽さん

も、最初の育児は想像以上に大変だったようです。「最初ははれものにさわるような感じと、『ちゃんと育てなければ』という責任感で、10時に授乳、13時に散歩・というようにスケジュールに縛られた育児を行いました。わからないから、テレビや雑誌を見て、あーしなきゃ、こーしなきゃと自分でプレッシャーをかけてしまうんですよ」と当時を振り返ります。

無我夢中で育児にがんばっていた杉山さんも、1年を過ぎたくらいから、「こどもと2人だけの生活に、自分がこわれていくのがわかりました」と話します。つい仕事の忙しい夫にあたってしまいう回数も増えました。杉山さんも、なんとかしようと、自分と同じくらいの子どもをもつ話し相手や相談相手を見つけたため、毎日のように公園を訪れました。そうこうするうちに、だんだん仲間も増え、5家族くらいでお弁当を持って近くの公園に遊びにいき、気分転換

を図るようになりました。これが育児サークル「てくてく」の始まりです。

仲間がたくさんできた杉山さんも「一番身近な夫の助けや理解がなにより大切です。365日育児から逃げられないことを理解してほしいです」と夫婦間の協力の大切さを強調します。

「山口市は、自然がいっぱいあるし、こどもを連れていく場所も充実しています。育児サークルなどの市民活動も盛んで、その気になって出ていけば受け皿はたくさんあります。こどもと散歩に出かける感覚で参加してほしい。ちょっと外にでるだけで違いますよ」と話してくれました。

◇問い合わせ やまぐち育児サークルネットワークぶちネット 磯部さん（☎932-5119）、てくてく 杉山さん（☎924-3299）



毎週金曜日、お弁当を持参し、野外を中心に活動を行っている「てくてく」。最近はその活動にお父さんたちも引っ張り出しているとか。

緑の将来像

緑の軸

◀◀◀◀ 【緑の生活軸】

国道9号・県道宮野大蔵線沿いを「緑の生活軸」として位置づけ、特徴的な街路樹の植栽やデザイン舗装整備等特色ある道路空間の創出

◀◀◀ 【歴史軸】

萩往還沿いを「歴史軸」として位置づけ、歴史的環境に親しめる道路空間の創出

—— 【市街地の軸線となる幹線道路】

都市計画道路を中心として幹線道路沿いを位置づけ、街路樹などによる特色ある緑の育成およびネットワーク化

○○○○ 【拠点をネットワークする軸線】

南部地域の拠点をネットワークする軸線として国道・県道を位置づけ、街路樹などによる特色ある緑を育成

●●●● 【緑を連絡する都市河川】

自然と市街地をつなぐ緑の軸線として、街の緑とも一体となって活かされる河川空間等の保全・活用

緑の拠点

● 【市街地内の緑の拠点】

地域の緑の拠点となる大規模公園等の整備



【山口の顔となる地区】

歴史・文化が育んだ地域資源を活用して、山口の顔となる個性ある緑のまちの形成

【南部拠点地区】

新しいまちづくりとともにみどりを育て、南部地区の顔となる個性ある緑のまちの形成

緑の骨格



【山口の緑の骨格】

山口を形づくる（自然環境を構成し、ランドマークやスカイラインとしての認識、北部地域と南部地域との区分等）緑地の保全



【水辺の緑の骨格】

市民が水に親しみ、多様な生きものが活動できる連続的な水辺の軸として保全・活用



【市街地の形態を構成する緑】
市街地と一体となる自然緑地であり、里山としての保全・活用

【田園空間】
集落地の活性化に配慮しつつ、農地の保全・活用による集落地景観の保全・育成

計画の目標水準は…
都市計画区域人口一人当たりの都市公園等の面積を23㎡に！

山・水辺・都市公園など、本市の都市計画区域の約7割を占める緑を今後とも積極的に守り、育てていきます。

また、都市公園並びに「山口市スポーツの森」や「南部運動広場」等の都市公園に類する物など都市公園等の施設として整備すべき緑地の確保目標水準を次のように定めています。

区分	年次	現況（平成12年）	将来（平成27年）
	都市公園	9.4㎡/人	約15㎡/人
都市計画区域人口 1人当たり目標水準	公共施設緑地	4.8㎡/人	約8㎡/人
	都市公園等	14.2㎡/人	約23㎡/人

◆問い合わせ

市都市計画課 ☎934-2831



創り、育て、楽しみ、守る。緑の総合的な指針として

山口市緑の基本計画策定

山口市緑の基本計画では、本市の魅力の一つである豊富な「緑」に着目し、その保存・活用方針を示すとともに、市民・事業者・行政が一体となった協働体制を図ることで、個性あふれる緑のまちづくりを進めていきます。

「みどりが育む文化の薫るまち山口」の実現を目指して…

基本方針は、緑を「創り」「育て」「楽しみ」「守る」

山口市緑の基本計画は、緑地の保全、公園や緑地の整備、その他公共公益施設・民有地における緑化推進などの考え方を明らかにするとともに、緑を創り、育て、楽しみ、守るという視点から、「緑」の総合的な指針となるものです。計画の目標年次は平成27年とし、基本理念「みどりが育む文化の薫るまち山口」の実現を目指します。

本計画では、緑の持つさまざまな機能や本市の緑の現状を把握した上で、まちづくりにおける緑の将来像を図のように位置づけています。ここでは、山口のまちを構成する「骨格となる緑」、主要河川や道路などで形成される「軸となる緑」、緑のまちづくりの中心となる「拠点となる緑」を設定し、これらが有機的に結びつくネットワークを形成していくことで、個性あふれる緑のまちづくりを進めていきます。

そして、この将来像をもとに、計画の実現に向けた4つの基本方針と主要施策を以下のとおり示します。

道路や河川などまちの基盤となるみどりを創りましょう

創るみどり

- まちの緑の軸（歴史・生活軸）づくり
- 水辺の軸づくり
- 地域らしさを創出する公共公益施設の緑づくり
- 災害に強い緑づくり

みんなで身近なみどりを育みましょう

育むみどり

- 緑に対する市民意識の醸成
- 緑づくりへの支援体制の充実・強化
- 民有地の緑化

みどりが育む文化の薫るまち山口

～まちを織りなす四季のみどり～

山口固有の豊かなみどりを守りましょう

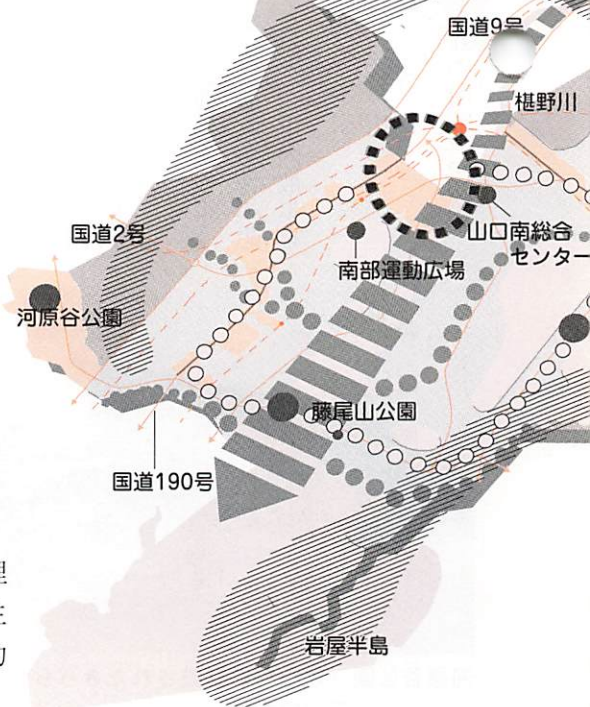
守るみどり

- 都市の骨格を構成する緑地の保全
- 里山景観の保全・活用
- 田園景観の保全
- 海岸線の保全・活用

“自然・文化・都市”のみどりを楽しみましょう

楽しむみどり

- 身近な公園づくり
- 身近なふれあい空間づくり
- 自然・文化を楽しむ緑の拠点づくり



市民・事業者・行政のよりよい協働体制の推進

計画の実現には、すべての人の緑のまちづくりに対する共通の理解が必要となります。市民・事業者・行政がそれぞれの立場で自主的な緑づくりを行うとともに、行政としてこのような活動を積極的に支援していくなど、よりよい協働体制の確立を図っていきます。

大内高齢者生きがいセンター

大内の館完成

市では、平成9年度から、高齢者の社会参加、生きがいづくりおよび世代間交流の場を提供するため、高齢者生きがいセンターの整備を進めています。平成13年度は、大内地区と陶地区で整備を進めてきましたが、このほど大内地区高齢者生きがいセンターが完成しました。愛称も「大内の館」と名付けられ、市内6番目の高齢者生きがいセンターが誕生しました。

この施設は木造平屋建てで、床面積149・94平方メートルの広さです。間取りは、洋間が2室、和

室、調理室、事務室で構成されています。

愛称の「大内の館」は、大内地区で愛される施設となるようにとの願いをこめて名付けられ、「竹細工やわら細工などをおして世代間の交流を図りたい」と大内地区社会福祉協議会の木原会長さんは話されます。



大内矢田に竣工した大内地区高齢者生きがいセンター「大内の館」

第23代山口市長に 合志栄一さん 当選

任期満了にともなう、山口市長選挙が4月21日に執行され、投票の結果、合志栄一さんが当選され、翌22日に当選証書が付与されました。合志さんは、5月13日に、第23代山口市長に就任されます。



当選証書の付与を受ける合志栄一さん

感動と成果の継承

きらら博

山口市館再利用

21世紀の幕開けを、県民一体となつて飾った「山口きらら博」。楽しかったあの夏から、もう一年が経過しようとしています。

市では、きらら博の感動と市民一体となった取り組みの成果を継承するため、山口きらら博に出席した「山口市館」を有効利用しています。山口市館本体は、佐山地区の山口テクノパーク内にある河原谷公園に移設を行い、休憩施設として利用しています。建物の名称は、「きららサンシェイド」と名付けました。大きな窓は「きらら浜」の方角を向いており、建物内部の壁には山口市館のプレートを取り付けられています。

なお、その他の設備は次のように活用しています。きらら博の思い出をたどりながら、市内散歩を試みませんか。

プレショー

大内氏ゆかりの旧跡、伝統行



河原谷公園（佐山）に移設されたきららサンシェイド（元山口市館）

ポストショー

山口ゆかりの人物や情景を紹介した「ホールムービー」を、観光案内所に設置しています。

メインショー

山口市の魅力を再発見し、人が育むまちを表現した映像の中から、コンピュータで作成した大内時代のまちなみ映像を再編集し、市歴史民俗資料館のスクリーンで常時放映しています。

5月は消費者月間です!

若者や高齢者が狙われています

商品やサービスの多様化に伴い、消費者が事業者と結ぶ契約でトラブルが増えています。中でも20歳代の若者や、60歳以上の高齢者がトラブルに巻き込まれるケースが増えており、十分な注意が必要です。

トラブルにあわないために

- ・うまい話にご用心
- ・いらないときはきっぱり断る
- ・説明内容は書面で確認
- ・うかつに署名押印しない
- ・おかしいと思ったら早めに確認、すぐに相談

契約は慎重に!

契約は口約束だけでも成立します。しかも、いったん成立すると、一方の都合だけでやめることは困難です。業者の言葉や広告をうのみにするのではなく、身近な家族や友人に相談するなど、情報を集め、慎重に検討した上で契約するようにしましょう。

また、日頃から予備知識を十分に備えておくことで、万が一の時に対処できるよう心がけましょう。

消費生活についてのご相談は…

消費生活について、何か困ったことがありましたら、お近くの窓口まで気軽にご相談ください。

●市地域生活課

市役所2階 ☎934-2764

※消費生活出前講座(無料)をご利用ください

消費者トラブルに関する事例紹介や相談など、専門相談員がうかがいます。お気軽にご相談ください。

●山口県消費生活センター

葵二丁目6-2 ☎924-2421

5月は赤十字月間です。人道は限りない力。赤十字社員増強運動を展開します。

日本赤十字社は、地域社会に根ざした幅広い活動を行っています。

おもな事業は、①人道・博愛

の精神の下に、生命と健康を守るため、水害や地震などの災害が発生した際の被災者の救護と救済活動。②家庭看護法、救急法等の普及や家庭看護相談事業の充実など社会福祉活動の推進。

③海外における災害や紛争による難民の救済や保健衛生事業といった国際貢献の充実。④老人福祉活動や救急法の普及などを行う赤十字奉仕団および学校を通じて奉仕・国際理解・親善な

ど「赤十字の心」を学ぶ青少年赤十字活動の促進。⑤地域の医療と疾病の予防など、住民の福祉向上を図る活動です。

これらの活動は、地域の皆様のご協力によって集められた浄財により支えられています。今年も寄付や社資のご協力をお願いするため「赤十字社員増強運動」を行います。

◇期間 5月1日から31日まで

◇問い合わせ 日本赤十字社

山口市地区(市社会課内 ☎

934-2790)または

日本赤十字社山口県支部

(☎922-0102)



老人医療の受給資格

Q 老人医療は、いつから受けられるようになるのですか。

A 老人医療の対象となるのは次の2つの場合です。

○70歳の誕生日をむかえられた方

老人医療の受給資格は誕生日の翌月の1日からです。ただし1日生まれの方は誕生日から老人医療が適用になります。

○65歳以上70歳未満の方で一定の障害のある方

障害の程度についてはおたずねください。また、老人医療受給資格は申請日翌月の1日からです。

老人医療を受けるためには、必ず届け出(申請)が必要となります。

70歳になられる方には、誕生月の上旬頃に手続きのご案内を郵送していますので、お忘れなく届け出をお願いします。既に70歳を超えられて、手続きがまだの方は至急手続きをしてください。

なお、老人医療受給者証は、受給資格開始前に郵送でお送りします。

※手続きに必要なもの

・健康保険証

・印かん

・障害認定の場合は、障害の等級がわかる身体障害者手帳等

◇問い合わせ 市保険年金課

(市役所1階 ☎934-2803)



文化は個人の努力によつて存続できます！

よねもとふみあき

米本文明さん

— 県無形文化財保持者 —

● 日本文化に誇りを

県の無形文化財に指定されている鷺流狂言。今年、米本文明さんは、その技術保持者に認定されました。「鷺流狂言を始めたのは、鷺流狂言の公演を見に行ったのがきっかけです。最初は、ここまでやるとは思ってたかったですけどね」と笑顔で話す米本さん。

鷺流狂言が注目を浴びていることについて、「鷺流は新作ではなく古典が中心、江戸時代からそのままの形で物語が伝えられています。狂言本来の姿がそこに残っていて、逆にそれが新鮮なんじゃないですか。若い女性が結構見に来ますよ。外国文化が氾濫しとるけど、私はあくまで日本の文化を大切にしたい。日本人には、これだけの文化を創れる民族としての誇りを持つてほしい」と話します。

● 公演も練習も真剣勝負

米本さんが所属する山口鷺流狂言保存会は、定期公演、小中学校での公演および狂言指導などを行い、鷺流狂言の普及、後継者育成活動を行っています。会の活動について、「この会は、アマチュアの集まりなんですけど、流派を持つ以上は、力量がいります。演ずる者を見れば師匠の教え方が分かるんですよ。だから、どの公演も手が抜けないんで



山口市在住。昭和53年山口鷺流狂言保存会に入会。鷺流狂言に興味のある方は、事務局（市文化財保護課内 ☎920-4111）

す。常に芸を高めていかなければならない。練習も、限られた時間と指導者で伝承していくためには、教える人も教えられる人も真剣勝負なんです」と話す姿は真剣そのものです。

小中学校での公演について、「子どもは大人にはない鋭い感性を持っています。子どもの感想は大人より正直なんです。子どもからの感想が怖くもあり、とてもうれしいです。その子どもたちによって自分たちの芸が高まるんですよ」とうれしそうに話します。

● 文化は夢をつなぐ

会の存続や無形文化財保持者に認定されたことについて、まわりの人々の協力があつたからだと話す米本さんは、感謝の気持ちを「みなさんに舞台を見て喜んでもらって、そこで新しい力をためて元気になっていただきたい。私は、その助けになりたいんですよ」と話します。

さらに、文化の継承について、「個人は、一生が終われば完結するんですが、文化は、個人の努力によって存続させることができるんですよ。そこに意味があるし、人生の目標や意味も見いだせるんじゃないですか。文化は夢をつなぎます」と力強く話してくれました。

山口のんた情報（山口ケーブルテレビ）

午前7時50分（月・木・日）、午後零時20分（水・土）、午後6時25分（火・金）、午後10時30分（月・木・日）から20分間

- 1日～15日 「詩のボクシング山口大会」
- 16日～31日 「山口アートマネジメント隊」

わたしたちのまち山口（テレビ山口）

毎週日曜日、午前11時40分から4分間
○5日・12日・19日・26日 「公園に出かけ

ご覧ください
山口市の
広報番組

5月の放送
予定です

てみませんか」

やまぐちしま専科（山口朝日放送）

- 毎週水曜日、午後1時55分から4分間
- 1日 「市歴史民俗資料館から新収蔵資料等の展示」
 - 8日 「自転車をリサイクル」
 - 15日 「子どもがつくる楽しいイベント！」
 - 22日 「栗林和彦の緑のさんぽ道」
 - 29日 「未定」

エコパークやまぐち
かわらばん

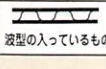


山口市リサイクルプラザ
☎ 927-7122 ☎ 927-7133
<http://www.c-able.ne.jp/~ymgplaza/>
開館時間 午前9時から午後5時
資源ごみの受け付け
午前9時から午後4時30分
月曜と祝休日の翌日はお休みです

■段ボールのビニールテープや金具はどうするの？

古紙の異物混入調査を実施

やまぐちエコ倶楽部では、3月3日（日）にリサイクルプラザのストックヤードにおいて、同クラブ調査研究部で毎年実施している分別収集の実態調査（異物混入調査）を「街なか大学」の受講生と一緒に行いました。今回は、リサイクルプラザに直接持ち込まれた「古紙類」を対象とし、新聞、雑誌、紙製容器包装、段ボールをひとつひとつ手作業で調べていきました。

	混入していた異物の種類	正しい分別 ※市環境保全課提供
新聞 	雑誌	雑誌
	カレンダー、ダイレクトメール 学校のテスト、郵便物	燃やせるごみ
	配達時のビニール袋に入ったもの	ビニール袋はプラスチック製容器包装
雑誌 	雑誌の付録のCD-ROM	CD-ROMは燃やせないごみ
	郵便物	燃やせるごみ
	ビニールカバーのついた本や雑誌	ビニールカバーは燃やせないごみ
	生協用の注文チラシ	燃やせるごみ ※回収している生協もあります
	ノート	燃やせるごみ
紙製容器包装 	新聞・広告チラシ	新聞
	段ボール	段ボール
	ラップ・トイレットペーパーのしん	燃やせるごみ
	雑誌	雑誌
段ボール 	ビニールの取手のついた紙袋	ビニールの取手ははずして出してください ビニールの取手は燃やせないごみ
	金具のついたままのもの ビニールテープのついたもの	金具やビニールテープははずして出してください
	紙製容器包装 (箱・包装紙ボール紙)	紙製容器包装

どのような異物が入っていたのか主なものを左表にまとめてみました。

よくある間違いに、本来燃やせるごみに出す「封筒（郵便物）」がすべての種類に混入していました。段ボールは、60パーセントがビニールテープや金具のついたままでした。紙製容器包装に段ボールが多く含まれていました。お菓子の箱は薄くても段ボールでできているものがあるので、断面をよく見ましょう。

古紙類の分別もなかなか大変ですが、きちんとリサイクルできればごみが減るばかりか資源の節約につながります。私たち一人ひとりが、正しい分別を心がけましょう。



3月3日の異物混入調査。（左）段ボールのビニールテープや金具は取り外して出しましょう。（右）

※古紙類は紙ひもで十字にしっかり結んで出しましょう。
※容器包装以外のプラスチックで、食品系以外は「燃やせないごみ」です。

■ 5月のリサイクルアイデア講座（午前10時～正午） 《いつでも参加できます。申し込みはいりません》

パッチワーク（初級）	8（水）25（土）	布遊び	11（土）25（土）
さき織り	2（木）9（木）16（木）23（木）30（木）	和服のリフォーム	14（火）21（火）
洋服のリフォーム	2（木）16（木）30（木）	パッチワーク（中級）	15（水）29（水）
トールペインティング	8（水）22（水）	モラの手法を使った小物づくり	21（火）
余り布でつくるコサージュ	9（木）23（木）	カントリドール	22（水）29（水）
毛糸のリサイクル	10（金）24（金）	刺しゅう糸で花づくり	28（火）
ネクタイでベスト、小物作り	10（金）17（金）24（金）31（金）	※トールペインティング、カントリドール	
フラワーアレンジメント	11（土）25（土）	午前9時30分～正午	
牛乳パック工作	11（土）25（土）	※パッチワーク（初級）25日（土） 午後1時～3時	

■ 5月のフリーマーケット

◇日時 5月12日（日）（午前9時～午後3時）

※おもちゃの病院もあります。（受付は午前10時～11時30分）

※6月のフリーマーケットは、6月9日（日）。出店の申し込みは、5月15日（水）からリサイクルプラザで受け付けます。出店共益費（300円）



お知らせ

環境意識啓発イベント等を募集します

市民の環境保全意識の向上に結びつくような、市民自らが企画実施するイベント等を募集します。

◇補助金額 優秀事業…100万円を上限／奨励事業…50万円を上限※いずれも補助対象となる事業認定額の9割を補助

◇募集対象事業 市民の環境保全意識の向上に結びつく事業（他からの補助を受けているもの、継続事業は除く）

◇応募資格 企画した事業を自ら実施できる民間団体（5名以上のグループ・高校生以上）で面接審査に参加できること

◇応募方法 5月31日（金・必着）までに所定の応募用紙に必要事項を記載の上、市環境保全課へ提出（☎934-2775）

※応募用紙は市環境保全課（市役所1階）、各出張所・公民館のほか、市環境保全課のホームページにも掲載しています。

http://www.city.yamaguchi.yamaguchi.jp/aguchi.jp/

高齢者保健福祉実態調査のお願い

市では5月から6月にかけて高齢者保健福祉実態調査を実施します。満65歳以上のひとり暮らし、または寝たきり高齢者および75歳以上の二人暮らし高齢者世帯を、各地区の民生委員さんが調査にうかがいます。調査へのご協力をよろしくお願いします

◇問い合わせ 市高齢障害課（☎934-2793）

高齢者・障害者福祉給付金の申請を受け付けます

市では、国民年金制度上、日本国籍を有しなかった等の理由により、老齢基礎年金や障害基礎年金の受給資格を得ることができなかった高齢者（大正15年4月1日以前生まれ）、障害者（身体障害者手帳1・2級または療育手帳A所持者）等に福祉給付金を支給します。

◇対象者 山口市に居住し、住民登録もしくは外国人登録を行っている方で国民年金制度上、老齢基礎年金、障害基礎年金の受給資格のない人等

◇申請受付 5月7日（火）から

◇支給額 高齢者…月額1万円／障害者…月額2万円

ゼミの内容

ゼミのテーマ	初回の開催日時・内容
①ゴミはどこへ行くの？	5月18日（土）午後2時～4時 「近未来住宅の見学」
②食べ物安全学・入門編	5月19日（日）午後2時～4時 「食べ物安全学・概説」
③山口発掘ゼミ	5月26日（日）午後2時～4時 「ふるさと路マップ」を作ろう
④まちの未来・イメージ工房	5月25日（土）午後3時～4時30分 「越境の空間…変容する都市」
⑤山口の文化を学ぶパートⅡ	5月26日（日）午前10時～正午 「アンケート結果発表・オリエンテーション」
⑥情報のびっくり箱	5月25日（土）午後6時～7時30分 「ホームページを作ろう（準備編）」

※その他にも学びたいテーマ・解決したい疑問を募集しています。
◇申し込み・問い合わせ 電話 またはFAX（〒住所・氏名・

◇支給開始 申請月の翌月から（平成14年度は4月分に遡及）

◇支給月 8月・12月・4月

※生活保護受給中の期間や本人、配偶者、扶養義務者の所得額が市の定める額を超える期間等については、支給停止となります。

◇申請・問い合わせ 市高齢障害課（市役所1階☎934-2795）市保険年金課（市役所1階☎934-2802）

やまぐち街なか大学 平成14年度前期受講生募集

◇開催期間 5月～9月

◇開催回数 5～6回程度

◇場所 市内各所（後日連絡）

5月の当番医の変更

日	変更前	変更後
	山口市医師会	平日夜間在宅当番医表
17	斎藤外科眼科	佐々木外科病院（923-8811）
	吉南医師会	土曜在宅当番医表
11	小林外科医院	林病院（083-972-0411）
18	林病院	小林外科医院（083-973-1515）
	吉南医師会	休日当番医表
12	利重クリニック	同仁病院（0836-65-5555）
26	同仁病院	利重クリニック（989-2515）

◇講師 三遊亭小遊三氏（落語家）
◇入場料 無料
◇問い合わせ 山口市南総合センター（☎932-8333）

◇日時 5月18日（土）午後7時
◇場所 山口市南総合センターホール（名田島1218-1）

文化講演会「笑う門には福来る」



三遊亭小遊三氏

「笑点」大喜利のレギュラー三遊亭小遊三氏をお招きして文化講演会を開催します。

連絡先・希望ゼミを記入）で、街なか大学事務局（☎FAX 934-3515）へ

5月5日の無料開放

市歴史民俗資料館 鑄銭司郷土館

- ◇時間 午前9時～午後5時
- ◇場所 市歴史民俗資料館
(春日町5-1) / 鑄銭司郷土館
(鑄銭司1422)
- ◇問い合わせ 市歴史民俗資料館 (☎924-7001)・鑄銭司郷土館 (☎986-2368)

中原中也記念館

- 第7回中原中也賞受賞者の
日和聡子氏の企画展を開催中
です。ぜひご覧ください。
- ◇時間 午前9時～午後6時
 - ◇場所 中原中也記念館
(湯田温泉一丁目11-21)
 - ◇問い合わせ 中原中也記念館 (☎932-6430)

新収蔵資料の展示と発掘速報展

新収蔵資料

- ◇期間 5月12日(日)まで
- ◇内容 丁銀「天又銀」(二ノ坂銀山で鑄造された貴重な資料)・毛利氏関係古銭「御公用銀」「萩判銀」等

発掘速報展

- ◇期間 9月29日(日)まで
- ◇内容 近年発掘調査した成果を出土遺物と写真パネルで展示

- ◇時間 午前9時～午後5時(入館は午後4時30分まで)
- ◇場所 市歴史民俗資料館(春日町5-1)
- ◇休館日 月曜日・祝日の翌日
- ◇問い合わせ 市文化財保護課 (☎920-4111) 市歴史民俗資料館 (☎924-7001)

春季清掃月間

5月5日～6月2日

自治会等で自主的に行われる清掃活動を支援しています。

【重点事項】▽町内の清掃および衛生害虫発生源の除去▽下水路、排水溝、小川などの溝さらえ▽空き地、池沼周辺、海岸、そのほか人の集まる場所の清掃

【汚泥等の除去、運搬】

◇申し込み 各町内会にお届けしている実績報告書に必要事項を記入し、各出張所または市環境保全課へ提出。(FAX可)

◇実施方法 溝さらえで出た汚泥、草刈り後の草などは市で除去運搬します。(土・日曜日は除く)

※除去運搬は遅れることがあります。通行の妨げにならないよう集めてください。

※不燃物(汚泥など)と可燃物(草など)は、別々に集めてください。

※溝ふた上げ機を貸し出しますの
で、ご希望の方は事前にお申し
込みください。

◇問い合わせ 市環境保全課
(☎934-2776 FAX 934-2645)

平成14年度自衛官募集

技術海上幹部

◇応募資格 大学理学部または工学部を卒業後、8年以上を経過し、2年以上の業務経歴がある者で、38歳未満の者

◇試験期日 7月5日(金)

技術海曹

◇応募資格 免許の部：第2種電気主任技術者など国家資格等有する者または音楽に係わる大学・短期大学の卒業生／学歴の部：工科系の大学・短期大学または高等専門学校を卒業した者(見込みのものを含む)

◇試験期日 7月4日(木)

◇受付期間 5月31日(金)まで

◇申し込み・問い合わせ 自衛隊山口地方連絡部山口募集

案内所(中央4丁目4-12 ☎25-8231)

みんなおいでよ!

「青空天国 いこいの広場」

市民誰もが参加できる「青空天国 いこいの広場」。今年も楽しいイベントをたくさん用意しました。遊びに来てみませんか。

◇日時 5月5日(日) 午前10時～午後3時30分

◇場所 県維新百年記念公園(吉敷3995-1)

※雨天決行(プログラム縮小)

◇問い合わせ 山口青年会議所 (☎922-7646)

第2回市民活動の祭典

市内の市民活動団体等で構成する組織「のんた人ネットワーク」では、地域通貨を利用した、各団体と市民との交流イベントを開催します。

◇日時 5月5日(日) 午前10時～午後3時30分

◇場所 県維新百年記念公園(青空天国いこいの広場内)

◇問い合わせ のんた人ネットワーク(山口青年会議所内 ☎22-7646)



アユさん 元気に育ってね

宮野小学校の児童による稚アユの放流が行われました。元よく泳ぎ出す稚アユに、子どもたちは「元気に育ってね」と声をかけていました。(4月12日)



陣内さんの指導にちょっと緊張！

元五輪バドミントン選手の陣内貴美子さんのふれあい指導や華麗なプレーを楽しみました。(4月14日)



間伐したひのきでトンカチごっこ

鴻ノ峰創造の森は、白石地区の木戸公園裏山に、健康回復、林業体験、自然教育などの場として平成10年4月にオープンしたものです。春はたけのこ堀り、夏は下草刈り、秋は紅葉狩り、冬はかずら細工など四季おりおりの行事を盛り込んだイベントが年4回行われます。

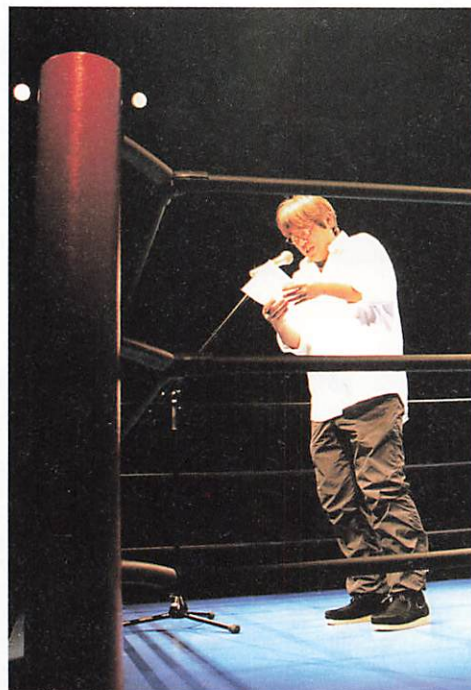
学校完全週5日制が始まった最初の土曜日に、鴻ノ峰創造の森では、創造の森春のイベントが開催されました。これは、山林での作業を通して森林に親しみ、森林からの恵みや効用を理解しようと呼びかけ、29家族約60人が参加して、ひのきの間伐、竹を使ったポンポラご飯づくりを体験しました。

表紙写真説明 創造の森春のイベント (4月13日)



コンピュータとの会話 タノシカツタヨ

メディアアーティスト藤幡正樹氏(写真左)の指導のもと、子どもからお年寄りまでの参加者は、コンピュータとの会話やメディアアート作品を使った作曲活動など、これまでにない体験型アートを楽しみました。(4月13日)



詩の朗読を通して「ことば」に親しみ、その魅力を発見してもらおうと開催された「詩のボクシング」。リング上で言葉と声のパンチを繰り広げる山口大会優勝者の前川和雄さん。(4月7日)